

ハード対策

・レベル1津波による浸水を防ぐための護岸整備
(かさ上げ)は実施しない

ソフト対策

【情報連絡(事前準備)】

- ・津波避難計画作成
- ・総合防災ガイドブック(ハザードマップ)全戸配布
- ・避難行動要支援者避難支援計画(個別計画)作成
- ・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成

【情報連絡(発災後)】

- ・Jアラート(全国瞬時警報システム)
- ・同報無線(防災行政無線)
- ・伊東市メールマガジン
- ・テレビ(テロップ)・ラジオ
- ・「災害用伝言ダイヤル171」の活用による安否確認

による
情報入手

**避難開始時間および避難時の移動
速度を速める**

急傾斜地崩壊対策事業実施中
(八幡野向町)

階段整備
避難地にする
→ (S-1-1)避難路の整備

地震により崩れて通行不能
空積みのため崩れる
→ (S-1-2)避難路の整備

街灯(LED)の整備(夜間暗くて危険)
→ (S-3)街灯の新設及びLED化に対する補助

両サイドに手摺りを付ける
→ (S-1-3)避難路の整備

マンション、お墓、ダイビング
ショップの所に避難路整備
階段老朽化
→ (S-1-4)避難路の整備

避難路の表示
観光客の誘導
→ (S-2)津波避難方向の路面標示等の充実

道路下に水路あり
(津波遡上のおそれ)

この辺まで平坦

八幡野漁港

八幡野防潮堤
施設高 9.5m

八幡野防潮堤
施設高 8.5m

(H-1)無堤区間防潮堤整備

(体育館)
広域避難場所
八幡野小学校

第4回地区協議会資料
(平成29年3月12日)

八幡野地区 津波対策 平面図

(参考)レベル1津波
必要防潮堤高さ
T.P.+6.5m

- 護岸(新設)
- 護岸(現況維持)
- 広域避難場所
- 津波避難協力ビル
- 指定避難所
- ← 津波浸水想定区域外への避難路
- レベル2津波浸水エリア
- 避難困難地域



※「避難困難地域」は、ソフト対策の実施により避難開始時間短縮および避難時の移動速度を速めた場合でも避難が困難と思われるおおよその地域を示しています。(八幡野地区にはありません)